



小割直彦 議員

住宅リフォーム補助制度の導入は

高江企画財政課長

効果的な支援のあり方を
考えていきたい

Q 住宅リフォームに対する支援が、若者世代の移住・定住促進や子育て世帯の住環境改善に与える影響について、町の考えは。

A 経済的不安がある若者層や子育て世帯にとって、家計において大きな割合を占める住

居費用は悩みの一つであり、住宅リフォームを含めた住居に関する費用への支援は、住環境改善や移住を検討する上で、一定の後押しになるものと考えている。

Q 住宅リフォームに対する補助制度の導入

について、町の考えは。

A 本町では、平成28年度から、空き家の利活用を促進するため、空き家バンクに登録された物件の残存家財の撤去やハウスクリーニング、利活用に必要な最低限の修繕に要する経費を一件当たり50万

円まで補助する制度を実施し、これまでに50件の利用実績がある。

当該事業の申請時や令和5年度に開設した移住・定住相談窓口においても、新築やリフォームの費用助成に関する問い合わせもあり、今後移住・定住促進対策を推進していく

上で、より一層、充実した支援の検討が必要であると認識している。

Q 補助制度の導入に当たっての有効な財源は。

どのような支援が効果があるのか、今後も十分に検討していきたい。

A 国や府において、移住者の住居費用支援を行う補助制度がある



住宅リフォームに対する支援で移住・定住の後押しを



バスルームの改装例



田中保美 議員

玉川堤の自然環境を 活かしたまちづくりは

奥山産業環境課長
高江企画財政課長

玉川の魅力を

さらに高めていきたい

Q 現在井手の玉川堤に、ヤマブキはどの程度植えられているのか。

A 平成21・22年に「玉川の名水を守る会」が、橋本橋上流から合藪までの区間に、約4200株のヤマブキを植樹された。

Q 以前よりヤマブキが少ないように見受け

られるが、今後植樹する考えは。

A 今のところ考えていないが、玉川は、豊かな自然と歴史が調和する魅力あふれる川であり、堤に咲くヤマブキや桜並木なども併せて、本町にとって貴重な観光資源であることから、今後検討していきたい。

Q 本町の豊かな自然環境をどのようにして守り、観光面に活かしていくのか。

A 「井堤保勝会」や「井手町まちづくり協議会」が行う保全のための活動に対し財政支援を行っている。また、本町の魅力・

観光資源として町内外の方々をひきつけ、「さくらまつり」やウォーキングイベント等で活用していく。

新たな魅力や観光資源の掘り起こしも含め、多くの方々と連携・協力しながら、引き続き関係団体への支援に努めていく。



玉川堤の桜並木

本町の竹林整備は

奥山産業環境課長

今後も放置竹林への
対策に取り組む

Q 本町のタケノコの

出荷量は。

A 例年50トン程度。

Q 今後放置竹林に対する対策は。

A NPO等において、放置竹林の再生・活用につながる活動として、竹林の間伐作業や竹林整備後、他の農産物栽培への転換などに、取り組んでいただいてお

り、本町も会員である「綴喜林業振興会」から助成されている。

Q 竹林バンク制度の導入は。

A 農業委員会の意見も伺いながら、先進事例などの調査も行っていきたい。



「山城たけのこ」の産地である本町の竹林



岡 田 久 雄 議員
おか だ ひさ お

本町における総合的な防災対策は

夢本安心・安全推進課長
花木住民福祉課長
北川学校教育課参事

より一層充実した
避難訓練等に努める

Q 「地区防災計画」の策定を行政が積極的
に後押しすべきと考え
るが、本町の考えは。

A 地域活動の理解や
協力が不可欠であり、
先進事例を確認しなが
ら、支援策について検
討していきたい。

Q 保育園で地震が起
きた際の園児への対応

Q 園児の怪我を防ぐ
ために、防災頭巾等の
備蓄品は準備されてい

るのか。

A 防災頭巾は、着用
のタイミングや時間的
なロスもあり、使用や
備蓄は想定していない
が、先進事例等の情報
も収集しながら、取組
を進めたい。

Q 防災教育の取組状
況は。

A 小学校の社会科や
総合的な学習の時間に
、火事や自然災害から安
全なくらしを守る仕組
みについて学習し、南
山城水害についても地
域の方から話を伺っ
ている。

A 「保育安全マニ
ュアル」を作成し、職員
の役割分担などを取り
まとめている。
防災設備の自主点検、
毎月の避難訓練の実施
などを行っている。

Q 最新の避難情報等
を一冊にまとめたハ
ザードマップ更新の進

捗状況は。

A 同報系防災行政無
線やメール配信、リー
NE等による緊急情報
の入手先の情報追加、
避難所情報の更新など
の校正について最終調
整中。

年度末に完成予定で、
速やかに各戸配布する。

Q 「災害時コミュニ
ケーション支援ボー
ド」や「ファーストミ
ッションボックス」、「防
災手帳」や「防災ハン
ドブック」について、
導入・検討状況は。

A 「災害時コミュニ
ケーション支援ボード」
は府や他の自治体を参
考にし、準備したい。

「ファーストミッシ
ョンボックス」は、井手
小・多賀小・玉川保育
園・ふれあいセンター
に準備している。

「防災手帳」、「防災
ハンドブック」は今

回更新するハ
ザードマップ
に必要な情報
を掲載するた
め、それを活
用していただ
きたい。



ハザードマップが更新されます

「傘のしずく取り」機器の設置は

平間総務課長

利用頻度や費用対効果を
勘案し検討

Q 住民を思いやる優
しい役場として、来庁
される方の危険防止の
観点から「傘のしずく
取り」機器を設置して
はどうか。

A 一階フロア
は、汚れに強く
滑らない素材の
タイル仕上げの
仕様となってい
る。

雨の日に確認
したところ、自
動ドアより先の
通路は濡れてい



「傘のしずく取り」の例（京田辺市）



木村 健太 議員

町内の下水道管は

仁木上下水道課長

策定計画の判断基準に
基づき点検・更新に努める

Q 今回の埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受けて、調査や点検は行ったのか。

A 町内全域を対象に下水道管が敷設されている道路について、陥没等がないか目視での点検を実施した。

Q 点検結果は。

A 異常がないことを確認している。

Q 本町で使用している下水道管の耐用年数は。

A 標準耐用年数は50年。

Q 設置後、何年程経過しているのか。

A 平成2年に敷設したものが最も古く、設置後34年が経過している。

Q 更新計画は策定されているのか。

A 下水道管を含めた下水道施設の更新や修繕、改修の計画を定めた「井手町下水道ストックマネジメント計画」を策定している。

Q 具体的な策定内容は。

A 対象施設の点検・調査の頻度や更新・改修等の判断基準などを設定している。

Q 現行の計画の満了期間は。

A 令和6年で期間が満了となることから、次期計画を策定中。

今後本計画の判断基準に基づき、適切な下水道施設の管理に努めていきたい。



本町のデザインマンホール蓋（「やまぶき」と「井」の字）

有王グラウンドのトイレ改修は

寺井社会教育課長

当初予算に
改修費用を計上

Q 有王グラウンドのトイレ改修の予定は。 予定。

A 必要に応じて応急的な修繕も行いながら検討を進めてきた。

令和7年度の当初予算でトイレ等の改修に係る費用を計上している。

Q 具体的な改修内容は。

A トイレの壁と内部の土間や天井等の改修。

Q 便器等の設置数は。

A 男子便所の小便器2台と洋式便器1台。女子便所



新四郎山グラウンドトイレ



鎌田 隆 宏 議員

消防団活動の充実は

菱本 安心安全課長

機能別消防団員の
導入も協議

Q 直近の消防団員数は。

A 201名。

Q そのうち45歳未満の割合は。

A 115名で、割合は57・2%。

Q 団員確保に向けた取組は。

A 各支部において新入団員の勧誘をして頂いている。

今後消防団と相談しながら団員確保の取組を実施したい。

Q 消防団マニュアルの作成は。

A 消防団において有事の際、規律ある行動、迅速かつ的確な対処が

行えるよう、査閲訓練や操法訓練、林野火災訓練、水防訓練等を実施している。

消防団の組織や活動内容、出動や参集基準などが把握できるマニュアルについて、他の自治体の作成事例を参考に検討していく。

Q 災害時の情報管理、連絡、参集などに活用できる専用アプリの導入は。

A 火災が発生した場合は消防署から、気象警報などが発表された場合は気象庁から、安心・安全推進課に連絡が入り、その情報を消防団幹部に伝え、災害などの規模に応じ、本町と消防団幹部とが協議しながら必要な人員を決定し、参集している。

連絡、参集や情報伝達については、電話や移動系防災行政無線以外にもLINEアプリ

も活用しながら、消防団幹部から各消防団員へ迅速に伝達している。

Q 機能別消防団員の募集は。

A 消防団員の減少、確保対策として取り組みべき事案である。

現在、女性消防団員の募集に向け、活動内容や組織上の位置づけ等を検討し、来年度中に募集ができるよう、消防団と調整中。

Q ホースの入れ替えや点検は。

A 各支部において毎月、地区の消火栓及び消火栓ホース格納箱の点検を実施されており、目視にて確認をして頂いている。



消防団員を募集しています

総務文教常任委員会報告

「井手町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定の件」

委員長 脇本 尚憲

3月10日に全委員5名と、町長並びに副町長、関係者の出席を求め、付託を受けた議案の審査を行いました。

今回新たに条例が制定される理由についての質問では、「地方自治法第243条の2の7第1項において、町長等の地方公共団体に対する損害賠償について、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、賠償責任額を限定してそれ以上の額を免責する旨を条例で定めることが可能とされたことから、制定に至ったもの」との説明がありました。

また、損害賠償責任額についての具体的な計算方法や対象となる職員の範囲などについての質疑がありました。

最後に、委員から「職務を行うにあたり善意・軽過失の場合は、一定程度免責がされるということ」で町長や職員、その他の委員が過

度に委縮することなく適正な業務遂行をできる環境づくりが求められることを期待する一方、善意・軽過失であったとしても、最低限度の賠償責任額を負担しなければならず、執行側の責任はやはり重たいと思われることから、引き続き、適切な業務執行を行うようについてお願いする」との意見がありました。

採決の結果、「全会一致」で、「原案のとおり可決すべきもの」と決しました。



最後に委員から意見がありました

総務文教・産業厚生

合同委員会報告

ごみの持つエネルギーと

資源の有効活用のために

委員長 脇本 尚憲

1月15日に城南衛生管理組合「クリーンパーク折居」の施設視察を行いました。

「クリーンパーク折居」は、本町を含む3市3町から排出される一般廃棄物の焼却処理を行う施設で、焼却することでごみの体積を減らすほか、循環型社会の形成に寄与する施設であると説明を受けました。

施設には、ごみの分別の必要性やごみの搬入から焼却、灰の廃棄方法まで見学できるコースがあり、ごみを出す際には分別を徹底し、金属などの不燃物や生ごみなどの水分を少なくしてごみに出すなど、各家庭で取り組むことで施設の効率化、資源の有効活用が図れると説明がありました。

本町でも小学4年時の社会見学で、当施設の概要などを学ぶ機会があるとのことでした。

また、「環境ふれあい広場」がリニューアルされ、リユースコーナーやリサイクルアート、フードロス問題など、時期ごとにテーマを変える企画展示で環境について学ぶことができ、施設内は自由に見学も可能となりました。

住民の方にも、ごみや環境のことを学ぶ場所として活用できればと感じました。



丁寧に説明していただきました

京都市議会・市町村議会 正副議長合同研修会報告

「あたたかい京都づくり」を

より実感いただくために

議長 奥田 俊夫

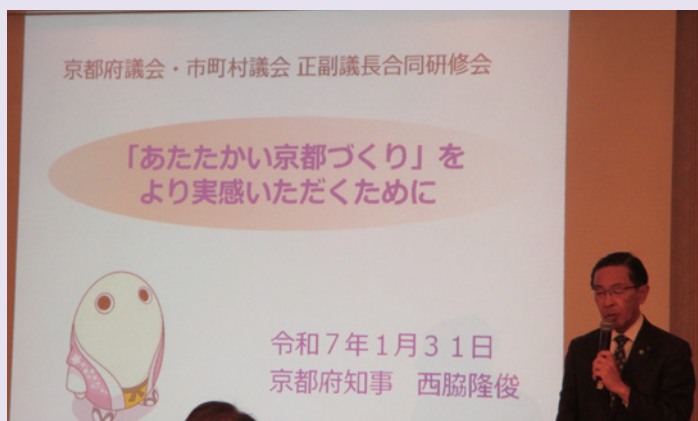
1月31日に開催され、谷田利一
副議長と出席しました。

第1部では、石田宗久京都府議
会議長の開会挨拶に続き、西脇隆
俊京都府知事より、講演がありま
した。

原油・物価高騰等への対応、人
口減少と地方創生、令和7年度地
方財政対策と税制改正等の説明の
後、『未来への施策展開 ―あた
たかい京都づくり―』として、京
都府の取組についての詳しい説明
を聞くことができました。

第2部では、府議会や他市町村
の正副議長と様々な意見交換をす

る機会があり、大変有意義な研修
会となりました。



西脇府知事による講演の様子

市町村議会議員研修報告

「市町村長等・市町村議会

議員特別セミナー研修報告」

田中 保美

1月20日～21日の2日間、全国
市町村国際文化研究所で市町村長
等・市町村議会議員を対象とした
研修会が開催され、本町から岡田
久雄議員、小割直彦議員、谷田健
治議員で参加しました。

1日目は、東京藝術大学学長の
日比野克彦氏から、『アート×福
祉』の講義があり、アートの力に
よる社会的課題の解決について学
ぶことができました。

次に、慶応義塾大学大学院健康
マネジメント研究科教授の堀田聰
子氏から、『安心して認知症にな
れる社会を目指して』の講義があ
り、共生社会の実現を推進する言
葉が印象的でした。

2日目は、社会福祉法人わたむ
きの里福祉会理事の野々村光子氏
から、『誰もが誰かの応援者』の
講義があり、人の思いが重なって
大きな力になることを学ぶ

ことができました。

次に、公益財団法人東近江三方
よし基金常務理事兼事務局長の山
口美知子氏から『人と人、人と自
然をつなぐ』の講義があり、地域
内での資金循環の仕組みを学ぶこ
とができました。

今回の研修を受けて知識を深
めることで、私自身、共生社会の
まちづくりをさらに推進していく
ことを強く感じました。



市町村特別セミナーに参加しました

(令和7年1月から3月まで)

1月分

日	曜日	公務内容	出席議員
1月10日	(金)	令和7年第1回京都府町村議会議長会議	奥田議長
1月11日	(土)	部落解放同盟井手支部荊冠旗開き	奥田議長
1月12日	(日)	井手町消防出初式	奥田議長（全議員対象）
		令和7年井手町二十歳のつどい	奥田議長（全議員対象）
1月19日	(日)	第19回井手町マラソン大会・第33回ジョギング大会	奥田議長（全議員対象）
1月20日	(月)	井手町営住宅等入居者選考委員会	奥田議長
1月25日	(土)	山城地協荊冠旗びらき	奥田議長
1月27日	(月)	城南衛生管理組合議会 廃棄物（ごみ・し尿）処理常任委員会事前説明	谷田健治議員
1月30日	(木)	城南衛生管理組合議会議会 議会運営委員会	岡田議員
1月31日	(金)	京都府議会・市町村議会正副議長研修会	奥田議長・谷田利一副議長

2月分

日	曜日	公務内容	出席議員
2月5日	(水)	城南衛生管理組合議会議会総務常任委員会	岡田議員
		京都府町村議会議長特別研修会	奥田議長
2月6日	(木)	京都府町村議会議長特別研修会	奥田議長
		城南衛生管理組合議会 廃棄物（ごみ・し尿）処理常任委員会	谷田健議員
		京都府後期高齢者医療広域連合議会（2月定例会）全員協議会	木村健太議員
2月7日	(金)	城南衛生管理組合議会（2月定例会）開会日	岡田議員・谷田健治議員
		京都地方税機構議会（2月定例会）全員協議会・本会議	小割議員
2月13日	(木)	市町村トップセミナー	奥田議長・谷田利一副議長
2月14日	(金)	京都府後期高齢者医療広域連合議会（2月定例会）本会議	木村健太議員
2月21日	(金)	城南衛生管理組合議会 予算特別委員会	岡田議員
		町村議会議長会第75回定期総会	奥田議長
2月24日	(月)	和束町制施行70周年記念式典及び竣工式	奥田議長

議会の主な公務

3月分

日	曜日	公務内容	出席議員
3月2日	(日)	令和6年度（公財）京都府スポーツ協会関係者懇談会	奥田議長
3月3日	(月)	井手町国民健康保険運営協議会（第2回）	奥田議長
3月4日	(火)	令和6年度通学路安全推進会議合同点検及び対策会議	脇本議員・鎌田議員
3月9日	(日)	井手町解放文化祭	奥田議長（全議員対象）
3月12日	(水)	井手町営住宅等入居者選考委員会	奥田議長
3月14日	(金)	泉ヶ丘中学校 卒業証書授与式	奥田議長（全議員対象）
3月17日	(月)	城南衛生管理組合議会 議会運営委員会	岡田議員
3月19日	(水)	井手小学校 卒業証書授与式	谷田利一副議長（地元議員も）
		多賀小学校 卒業証書授与式	奥田議長（地元議員も）
		井手町環境審議会	奥田議長・谷田利一副議長
3月23日	(日)	第26回ふれあい福祉まつり	奥田議長
3月24日	(月)	井手町交通対策協議会	奥田議長・谷田利一副議長
3月26日	(水)	城南衛生管理組合議会（2月定例会）閉会日	岡田議員・谷田健治議員
3月27日	(木)	井手町防災会議	奥田議長



人生の節目に立ち会いました



卒業式で祝辞を述べる奥田議長

いでたんが聞く

新米記者いでたんが町に出かけて、まちのこといろいろ聞いてみます。

今回は井手町図書館司書の鈴木浩史さんすずき ひろしにインタビューしました！

図書館のこと・個人的なこと、いろいろ聞いてみました！



図書館司書の仕事を教えてください。

多岐にわたりますが、基本的には ①資料の収集 ②資料の整理 ③資料の提供 ④資料の保存 と考えています。



井手町図書館について教えてください。

規模は大きくありませんが、多彩な資料を備えた、町民の皆様役に役立つ図書館です。



お仕事の大変なところは。

図書館に来られたことのない、ご興味のない方へどのように図書館をアピールするかが課題であり、難しいところです。



司書の仕事の楽しいところとやりがいを感じる場所は。

利用される方のご要望に適した資料を提供できたときにやりがいを感じます。お話を伺いながら、どのようなものをお探なのか、探し当てる作業が楽しいです。



この仕事についたきっかけは？

子どものころから図書館が身近にあり、いつか本に関わる仕事がしたいと思っていました。



こっそり聞きました・・・鈴木さんはどんな人？

- 好きな食べ物は・・・
ラーメンです。京都ラーメンの奥深さにハマっています。
- 休日の過ごし方は・・・家でのおんびり過ごします。
- 趣味は・・・最近では稽古ができていませんが、「仕舞」をかじっていたことがあり、「能」が好きです。
- 好きな本、おすすめの作家さんは・・・
「クラフト・エヴィング商会」というユニット名で活躍されている吉田篤弘さんの作品は唯一無二の雰囲気があり、学生時代から愛読しています。
- 座右の銘は・・・“Information is not knowledge.”
(情報は知識にあらず。) フランク・ザッパ



これからの図書館をどんな風にしたいですか。また、今後の目標は。

町民の皆様が頼りにして下さるような、そんな頼もしい図書館を目指したいと考えています。



この仕事を目指す人に何かありますか。

技術革新が目覚ましい現代において、司書として何ができ、何をすべきなのか、みんなで考えていきましょう。



取材協力ありがとうございました！！